

1. 構想策定の目的

神戸地区と小沢地区を対象に、神戸岩や地区内の観光施設を訪れる来訪者のニーズを把握した上で今後の課題を整理し、魅力的な環境を整備するための構想を策定する。構想に基づく整備によってエコツーリズムの来訪者が増え、神戸・小沢地区をはじめとする地域の活性化を図ることを目的とする。

2. 事業計画の整理（上位計画・関連計画）

- ◎第5次檜原村総合計画 後期基本計画（平成31年3月）
- ◎第2期人口ビジョン・総合戦略（令和3年3月）
- ◎檜原村観光ビジョン（平成28年3月）
- ◎檜原村エコツーリズム推進全体構想（平成30年4月）
- ◎檜原村トイ・ビレッジ構想
- ◎檜原村小沢地区活性化計画（令和2年2月）

3-1. 観光施設の利用動向の整理

- 檜原村への観光客数は、2017(H29)年度調査では年間41万人と推計されており、増加傾向で推移している。
- 2018(H30)年～2021(R3)年の主要観光施設調査値では、コロナ禍等による入込客数の減少に回復が見られる。
- 2021(R3)年に「檜原村じゃがいも焼酎製造等施設（ひのはらファクトリー）」と「檜原森のおもちゃ美術館」が開業し、開業1年でひのはらファクトリーは1万人、おもちゃ美術館は4万人の入館者を達成している。

■観光入込客数の推移（推計値）

	2006年度	2012年度	2017年度
檜原村全体	357,128人	298,825人	409,043人
日帰り	318,643人	292,719人	388,083人
宿泊	38,485人	6,106人	20,960人

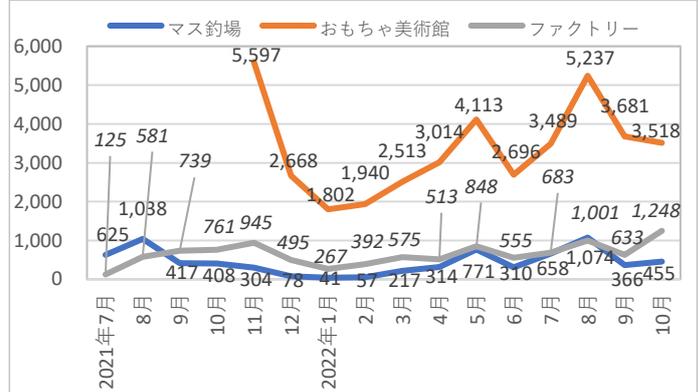
資料：西多摩地域入込観光客数調査報告書

■主要観光施設調査合計人数（村内4施設の計測値）

	2018年	2019年	2020年	2021年
入込客数	272,294人	245,245人	243,200人	254,411人

資料：秋川溪谷観光経済統計調査・分析等業務委託報告書

■神戸・小沢地区の観光施設の入込動向



3-2. 観光施設の利用者評価の把握（来訪者アンケート調査）

実施日	【夏調査】令和4年8月27日（土）、9月17日（土）【秋調査】令和4年11月12日（土）
調査地点	①神戸岩 ②神戸国際マス釣場 ③檜原森のおもちゃ美術館 ④ひのはらファクトリー
実施方法	調査員による対面式調査または配布したQRコードによるWEB回答
サンプル数	【配布数】各地点50×夏秋2回 【回収数】合計358（夏調査：198、秋調査：160）

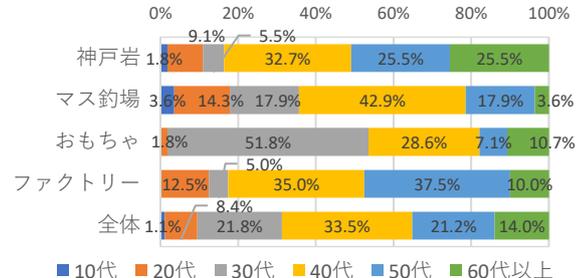
①来訪者の属性

- ・性別、年齢層に大きな偏りはないが、10～20代の来訪は少ない。
- ・東京都内からの来訪者が7割を占める。誘致圏は夏よりも秋の方が広がる傾向にある。
- ・交通手段は自家用車やレンタカー等の車利用の割合が8割と圧倒的に多い。公共交通機関の利用は1割に留まる。
- ・檜原村への来訪経験は初来訪が約5割。季節を通じて神戸岩のリピーター率が高い。

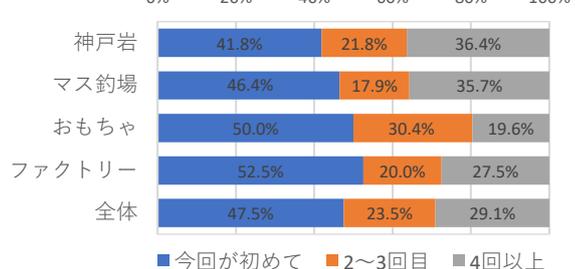
②来訪者の行動特性

- ・檜原村には都心から近い場所での自然体験を目的に訪れる人が多いが、調査結果では「観光施設巡り」が最上位であった。新たな観光施設の開業により、檜原村を訪れる目的や行動に変化がみられる。
- ・村への滞在時間は「4時間以上の日帰り」が最多。村内での周遊は、目的地1か所で過ごす割合が約4割。神戸地区と小沢地区との往来は12%、南部（人里、数馬等）へ足を延ばす割合は25%。
- ・村内での一人当たりの観光消費額は、3,888円であった。

■来訪者年代



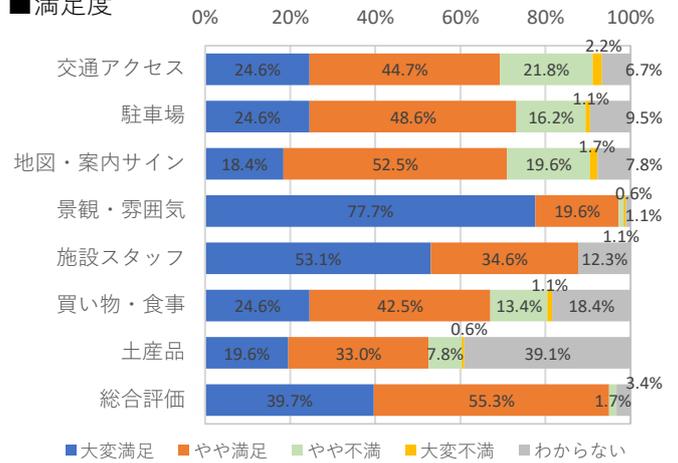
■来訪経験



③ 檜原村の観光及び当該地区への評価・期待

- ・満足度は「景観・雰囲気」と「施設スタッフ」の評価が高い。
- ・「交通アクセス」、「駐車場」、「地図・案内サイン」に不満がある。
- ・総合評価の「やや満足」の評価を「大変満足」に変えていくことが重要である。
- ・自由回答で挙げられた檜原村及び各施設に期待する点、改善点を整理すると以下の項目に整理できる。
 - ◎ 自然を守り、活かす環境整備・景観づくり
 - ◎ 車利用者に便利でわかりやすい駐車場やサイン類
 - ◎ 快適に利用できる公衆トイレ
 - ◎ Twitter、Instagram等 SNS での情報発信、村内での観光案内
 - ◎ ゆっくり時間が過ごせる場所の整備（食事、川遊び、道の駅等）

■ 満足度



4. 施設管理者および地元住民の意向把握

- 施設管理者からは、「駐車スペース」や「誘導サイン」等、車旅行者に向けた環境整備の充実が求められている。
- 「情報発信」や「観光案内」は、施設や地域だけでなく、行政・観光協会と連携した取組が、より効果的。
- 地元住民からは、両地区を繋ぐテーマや人的交流が不可欠、自然を守りながら活性化する整備が望まれている。

■ ヒアリング結果のまとめ

	施設管理者	地元住民（自治会）
神戸地区	【マス釣場】 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の改修計画あり ・繁忙期における駐車スペースの確保 ・河川環境の改善（放置されている廃棄物の処理、倒木処理、がけ崩れ対応、草木の手入れ等） ・大雨の後に流された水施設内の橋の改修 ・村道神戸線及び村道小沢線を散策道として整備、観光活用（河川側の杉林の手入れ、レンタサイクル活用、トイレ整備、サイン設置、エリアマップの制作）等 	【神戸岩】 <ul style="list-style-type: none"> ・神戸岩の撮影スポットを示す看板設置 ・神戸岩の足場、鎖場の整備（自然景観に配慮しつつ、安全性を向上させる） ・神戸岩駐車場のガードレール等、老朽化箇所の改修 ・神戸岩駐車場周辺に休憩スペース設置 【マス釣場】 <ul style="list-style-type: none"> ・釣り客以外の利用促進（食事、トイレ、地場産品の販売） 【周遊ルート】 <ul style="list-style-type: none"> ・村道小沢線のガードレールを高く 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・ポルダリング客、BBQ 客に対するルールの啓発（ゴミ持ち帰り、駐車マナー） ・地域が潤う仕組みづくりとして、神戸岩でのイベント開催（冬の岩まつりを名物化、岩のライトアップ、キッチンカーイベント等）
小沢地区	【おもちゃ美術館】 <ul style="list-style-type: none"> ・都道 205 号沿いへのサイン設置 ・都道 205 号沿いへの駐車場整備（川遊び客用） ・神戸方面への散策道の整備（ガードレール高く、路面の苔対策、花植え等による環境改善、カートなどの2次交通活用） ・裏山ハイキングのプログラム化 【ファクトリー】 <ul style="list-style-type: none"> ・川遊びできる場所と、河川に安全に下りられる階段 ・行政や観光協会による観光情報の積極的な発信 ・おもちゃ美術館とファクトリー両方を説明できる共通ガイドの育成 ・村の南北をつなぐ周遊ルートの開通 【おもちゃ工房】 <ul style="list-style-type: none"> ・快適に利用できる公衆トイレ ・観光客が食事する場所が少ない ・両地区の周遊を促す仕掛けづくり 	【おもちゃ美術館】 <ul style="list-style-type: none"> ・地場産品の販売（木工品以外のお土産、食べ物） ・交通処理が課題（第2駐車場への誘導、満車時の案内、大型自家用車への対応、駐車場の水はけ） 【ファクトリー】 <ul style="list-style-type: none"> ・焼酎を作っていない時期の活用 【自然環境整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・地元団体の活動（桜・紅葉の植林）とおもちゃ美術館、ファクトリーとの連携 【周遊ルート】 <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の散策に良い村道小沢線の整備と活用（景観に配慮した伐採、沿道の美化等）

5. 整備課題と整備の方向

課題1	神戸・小沢地区における観光活性化のコンセプト設定
課題2	来訪者の特性に合った観光基盤整備の利便性向上
課題3	滞在時間と観光消費の拡大を促進する滞在魅力の向上
課題4	観光案内機能・情報発信機能の強化
課題5	神戸・小沢地区の観光を支える人材の確保と連携強化



整備方向1	北秋川地域における自然環境を活かした周遊観光エリアの形成
整備方向2	車旅や多様なファミリー層のニーズに即した観光基盤整備
整備方向3	周遊観光ルート開発と滞在の魅力づくり
整備方向4	観光情報コンテンツの作成と情報発信
整備方向5	神戸・小沢地区の観光活性化を推進する組織の活動支援

6. 整備項目と整備イメージ

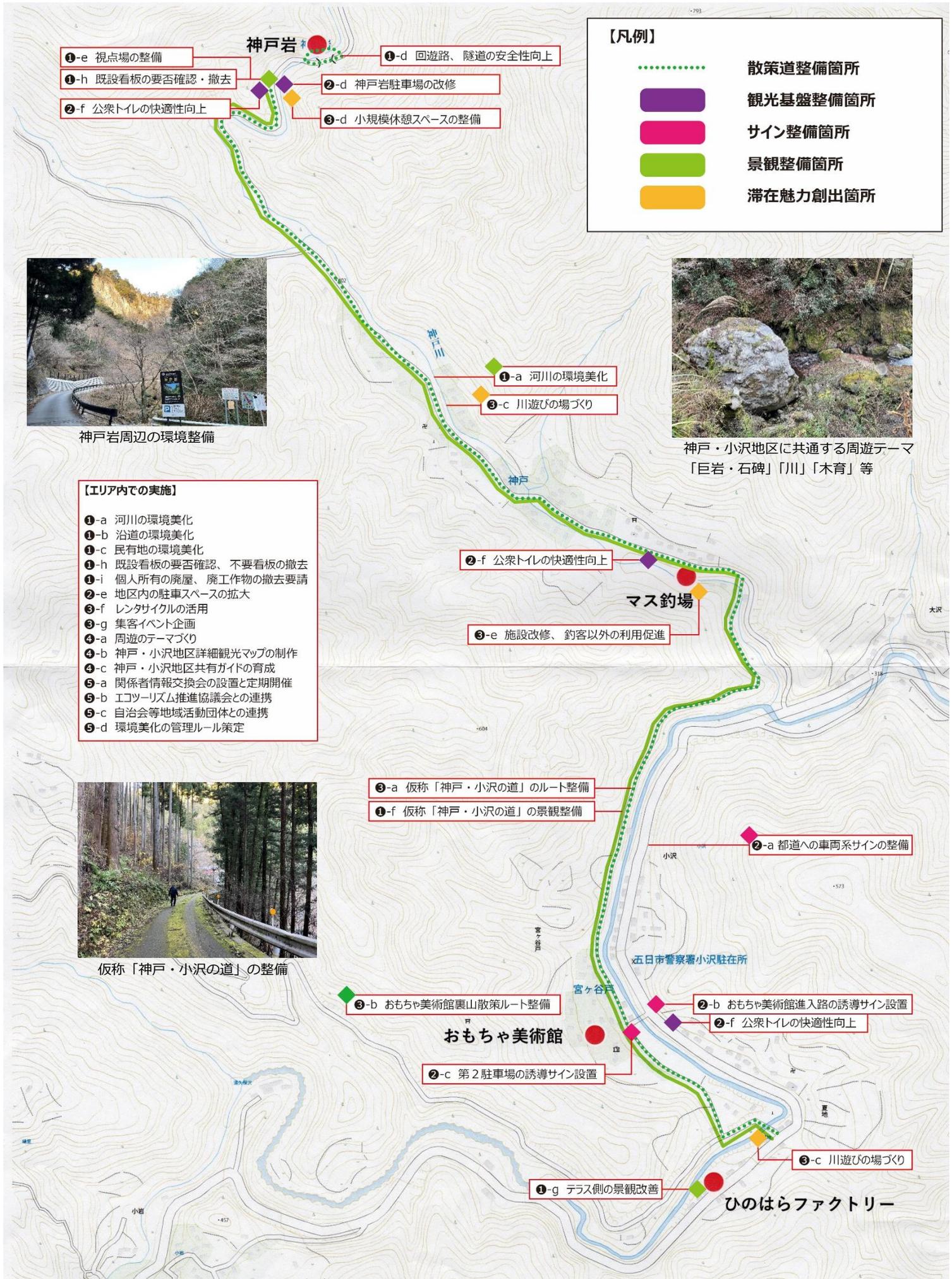
●整備方向1～5に基づき、13の整備項目と30の整備イメージを下表に整理する。

※神戸地区と小沢地区をつなぐ、神戸岩から村道神戸線及び小沢線を通り夏地橋に至る道を、『仮称「神戸・小沢の道」』と記述する。

■整備内容

整備方向	整備項目	整備内容
①自然環境を活かした周遊観光エリアの形成	自然環境保全	a.河川的环境美化（ごみ処理、倒木処理、がけ崩れ改修、草木手入れ）
		b.沿道的环境美化（ごみ処理、草刈り）
		c.民有地的环境美化（ごみ処理、草刈り）
		d.神戸岩回遊路、神戸隧道の安全性向上（階段、手すり、照明等）
	景観づくり	e.神戸岩の視点場（撮影スポット）の整備
		f.仮称「神戸・小沢の道」の景観改善（路面改良、景観伐採、花植え等）
		g.ファクトリーのテラス側の景観改善
		h.既設看板の要否確認、不要看板の撤去
		i.個人所有の廃屋、廃工作物の撤去要請
②車旅や多様なファミリー層のニーズに即した観光基盤整備	誘導サイン	a.都道への車両系サインの整備
		b.おもちゃ美術館進入路の誘導サイン設置
		c.おもちゃ美術館第2駐車場の誘導サイン設置
	駐車場・駐車スペース	d.神戸岩駐車場の改修
		e.地区内の駐車スペースの拡大
	トイレ	f.公衆トイレの快適性向上
③周遊観光ルート開発と滞在の魅力づくり	周遊コース	a.仮称「神戸・小沢の道」のルート整備
		b.おもちゃ美術館裏山散策ルート整備
	川遊びの場づくり	c.川遊びの場づくり（夏地橋、神戸川等）
	休憩スペース	d.神戸岩駐車場付近への小規模休憩スペース整備
	施設の滞在魅力	e.マス釣場の施設改修、釣り客以外の利用促進
	レンタサイクル	f.レンタサイクルの活用
	集客イベント	g.集客イベント企画（岩まつり、キッチンカーイベント、オリエンテーリング）
④観光情報コンテンツの作成と情報発信	観光情報、コンテンツ	a.周遊のテーマづくり（巨岩・石碑巡り、木育）
		b.神戸・小沢地区詳細観光マップの制作
		c.神戸・小沢地区共通ガイドの育成
		d.観光協会HP、SNSでの村内観光情報の発信
⑤観光活性化を推進する組織の活動支援	連携・活動支援	a.関係者情報交換会の設置と定期開催
		b.エコツーリズム推進協議会との連携（周遊の仕組みや利用者マナーの検討）
		c.自治会等地域活動団体との連携
		d.環境美化の管理ルール策定（清掃、ペット）

■整備内容位置図



【凡例】

- 散策道整備箇所
- 観光基盤整備箇所
- サイン整備箇所
- 景観整備箇所
- 滞在魅力創出箇所



神戸岩周辺の環境整備



神戸・小沢地区に共通する周遊テーマ「巨岩・石碑」「川」「木育」等

- 【エリア内での実施】**
- 1-a 河川環境美化
 - 1-b 沿道環境美化
 - 1-c 民有地の環境美化
 - 1-h 既設看板の要否確認、不要看板の撤去
 - 1-i 個人所有の廃屋、廃工作物の撤去要請
 - 2-e 地区内の駐車スペースの拡大
 - 2-f レンタサイクルの活用
 - 3-g 集客イベント企画
 - 4-a 周遊のテーマづくり
 - 4-b 神戸・小沢地区詳細観光マップの制作
 - 4-c 神戸・小沢地区共有ガイドの育成
 - 5-a 関係者情報交換会の設置と定期開催
 - 5-b エコツーリズム推進協議会との連携
 - 5-c 自治会等地域活動団体との連携
 - 5-d 環境美化の管理ルール策定



仮称「神戸・小沢の道」の整備